

小城市立岩松小学校 学校だより 第10号	 <h1 style="font-size: 2em;">岩松小だより</h1>	令和7年6月6日発行 発行者 校長 真子靖弘
-------------------------	---	---------------------------

6月の校長講話



6/2(月)の全校集会で、体育館にて校長講話を行いました。今回のテーマは「**授業**がもっとわかるようになる魔法はないのか？」でした。子どもたちが興味を持ってくれるように「魔法」という言葉を使い、その「魔法の準備」として**予習の効果と具体的なコツ**について話をしました。

〈校長講話で話した「予習のコツ四か条」〉

- ①教科書のこれから習うところを眺めておく。
- ②「なぜ、そうなるのか？」を考えながら教科書を読む。
- ③教科書のわからないところに印をつけておく。
- ④「なぜ？」と思ったことに、自分なりの答えを準備しておく。

ここで言う「予習」とは、授業で習う前に、**あらかじめ自分で教科書を読んでおくこと**です。今年度も本校では学校教育目標の中に「自律」を掲げています。子どもたちには、自分の学びに対しても自律的・主体的に取り組んでほしいという願いから、今回の講話を行いました。

私は大学院で学習心理学を学び、社会科の学習指導において様々な学習方略(学び方を工夫する戦略)を生かす研究をしてきました。現在の学習心理学の研究でも、**深い理解**には「**精緻化方略**」や「**体制化方略**」が、学習成果と良い相関があることが報告されています。今回の講話では、これらの学習方略と、自分の理解度を把握する「**モニタリング**」という考え方を、子どもたちにわかりやすく、予習の中でどのように活用するかを伝えました。



〈「認知的方略とメタ認知的方略」〉

認知的方略(目の前の情報をどう処理するか)		
反復方略	単純に繰り返す	・覚えるまで何度も書く
精緻化方略	既有知識と結びつける	・根拠(なぜ)を押さえる ・自分の言葉で言い換える
体制化方略	整理する	・似た情報をまとめる ・図、表で情報を整理する
メタ認知的方略(自分の学習をどう管理、調整するか)		
モニタリング	自分の学習をチェックする	・自分で自分に質問する ・自分で自分に説明する
プランニング	計画を立てる	・学習目標、計画を立てる
コントロール	自分の学習を調整する	・重要な点に注意を向ける ・読む速さを調整する

出典:篠ヶ谷圭太(2022)「予習の科学」図書文化社

最後に、子どもの問いと感想(私の回答と感想を含め)を紹介します。

・他に魔法はないのですか?【3年】

→あります!「復習」という魔法さ!

・魔法の準備の話聞いて、前は宿題が終わった後に自由勉強をしていたけど、これからは宿題が終わったら算数と国語の教科書を見ようと思いました。【2年】

→すごい!きつともっと授業が楽しくなるよ。

宿泊学習



5/29(木)から30(金)にかけて、**5年生**が波戸岬少年自然の家へ**宿泊学習**に行ってきました。最高の天候に恵まれ、野外活動のカッターボートやウォークラリーも予定通り実施できました。子どもたちは初めての体験に苦戦しながらも、仲間と協力して楽しむ姿が見られました。夜には幻想的なキャンドルの集いを行い、各班が趣向を凝らした出し物で盛り上がりました。この宿泊学習を通して、5年生の絆がまた一段と深まったと感じています。



後輩を思う気持ち、脈々と

5年生が宿泊学習に出発する時のことでした。グラウンドでは6年生が体育の授業を行っていましたが、出発式を終え、岩松支館の駐車場へ移動する5年生の姿を見つけると、突然、6年生全員が5年生に向かって大きな「**エール**」を送ってくれたのです。そして、宿泊学習から戻った5年生を待っていたのは、教室の黒板に書かれた「**お帰り〜**」という温かいメッセージでした。

後輩を温かく見守り、応援する6年生の行動に、胸が熱くなりました。このような相手を思いやる気持ちや、学校の温かい雰囲気が、先輩から後輩へと自然に引き継がれていくことを心から願っています。

今回の出来事は、子どもたちの心にも深く残り、学校の良き伝統としてこれからも大切にしていきたいと感じました。